

本部青年部本社折衝行っ!!

JR貨物労組青年部は、2012年12月17日においてJR貨物会社本社と折衝を行いました。私たちの要求項目としては、各青年部定期委員会の発言や青年部員の声を基に選出し、本社へ訴えました。内容については以下の通りです。

1、この間、石勝線の事故など、会社の根底を揺るがす事象が発生しているが、会社の安全に対する考え方と、今後の対策を明らかにされたい。

回答…冬季のブレーキ対策については、ソフトやハード面等においても対策を行い検証している。

また、石勝線についても電磁ブレーキの使用し対応している。

事故対策については鉄道総研への依頼による原因究明と再発防止策の策定に引き続き取り組む。

2、年々、欠員状態の職場が増えてきている。また、技術継承も進んでいない状態にあるため、新規採用者の増をされたい。

回答…全社ベースではなしをするならば、要員は満ちているが北海道・関東は厳しい状況であることは認識している。その為、新規採用の枠を当初計画60名としながらその枠を超える採用を行った。次年度以降も再度要員需給を精査しながら必要な要員確保に努めていきたい。

3、保全職場において、業務に必要な資格の取得を出来るようにされたい。また、資格取得に関わる費用の補助をされたい。

回答…現場長会議や電気技術者会議で資格が必要である事の説明、並びに積極的に受験する事を指導している。また、試験に合格すれば受講料と受験料を会社が負担する。

4、昇職試験の出題のあり方について、業務に則した内容とされたい。

回答…昇職試験については、各職種別に行うとともに、また、事前に事件範囲、過去問題をしめしており、出題のあり方に問題があるとは考えていない。一般常識については、社会人として必要な知識知って頂きたいと出題している。

5、帰省旅費の年間使用回数を増やされたい。また、対象を100kmを超える距離にされたい。

回答…現行通りとされたい。

6、検修手当を増額されたい。

回答…現行通りとされたい。

7、都市手当の級地の改善と、都市部にありながら無級地の職場について新規に都市手当を適用されたい。

回答…現行通りとされたい。

会社の回答に対して、本部青年部は青年部員の声や職場の現実を強く訴え、会社へ実施させる様、粘り強く求めました。

青年部員の皆さん!!共に要求実現に向け13春闘を闘おう!!